

＜ヨハネの殉教＞

マルコ6：14～29



【ヘロデ王】 ヘロデー族

- ・ガリラヤ地方の領主。ヘロデ・アンティパス。
- ・父親はヘロデ大王。イエス・キリストの誕生について東方の博士から聞き出せず、恐れた末に、2歳以下の男子を皆殺しにする命令を出した。
- ・エドム人。ヤコブの兄弟エサウの子孫。ユダヤ人に恨みを募らせる。
- ・積年の恨みを果たすため、ローマ帝国の力を借りてユダヤの王に収まりユダヤ人を支配した。 *実情は国主という中間的な支配者。

【バプテスマのヨハネ】

神の子イエス・キリストの福音のはじめ。預言者イザヤの書にこう書いてある。「見よ。わたしは使いをあなたの前に遣わし、あなたの道を整えさせよう。荒野で叫ぶ者の声がある。

『主の道を用意し、主の通られる道をまっすぐにせよ。』」そのとおりに、バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪の赦しのための悔い改めのバプテスマを宣べ伝えた。 マルコ1：1～4

旧約聖書～新約聖書は500年間のブランクがある。

旧約聖書はマラキ書4章で終わっている。

見よ。わたしは、主の大いなる恐ろしい日に来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を打ち滅ぼさないためだ。 マラキ4：5, 6

預言者エリヤ…世の終わりのさばきに先立って再び神から遣わされる人。
イエスさま「バプテスマのヨハネこそが、きたるべきエリヤなのです」 マタイ 11：14

旧約と新約をつなぐ人物。それがバプテスマのヨハネ。

ヨハネが捕えられた理由

ヘロデ王が弟の妻を奪って自分の妻にした、不当な婚姻関係を公に責めたから。
ヨハネは、宗教指導者や政治的指導者に大きなチャレンジと衝撃を与えた人物。

ヘロデが、ヨハネを正しい聖なる人と知って、彼を恐れ、保護を加えていたからである。また、
ヘロデはヨハネの教えを聞くと、非常に当惑しながらも、喜んで耳を傾けていた。【20節】

人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。欲がはらむと
罪を生み、罪が熟すると死を生みます。愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。

ヤコブ 1：14～16

◆ヨハネが、神の元へ立ち返るように語った悔い改めのメッセージに、ヘロデは
耳を傾けたけれど、自分の生き方を変えようとはしなかった。

【不幸なヘロデヤの娘】

- ・母ヘロデヤは、自分の憎しみを晴らすために、娘に残酷な要求させて利用した。
- ・義父ヘロデ王は、自分の保身のために、娘を叱ることが出来ない。
- ・ヘロデヤの娘は、神を畏れることを知らずに育ち、悪を悪と思いもしない。

その首を盆に載せて持って来て少女に渡すと、少女はそれを母親に渡した。【28節】